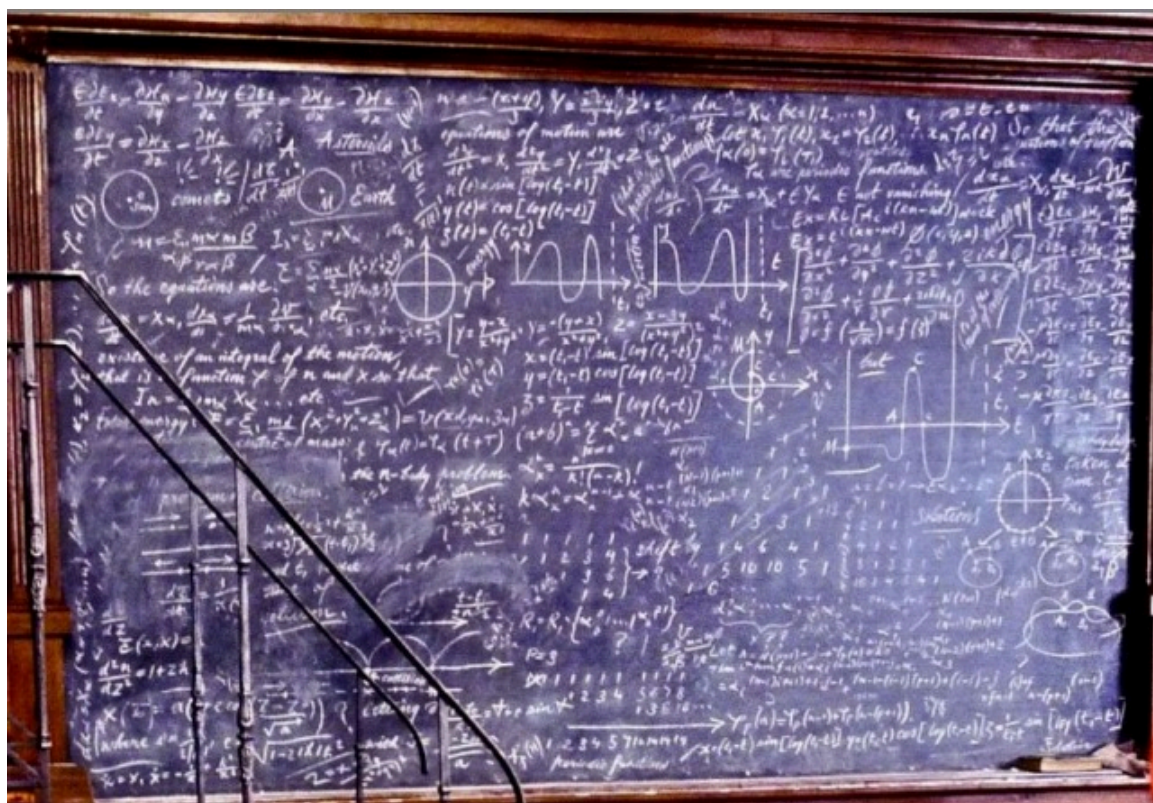


# yamaMath

数学と一緒に

## 1077\_数学者たちの黒板

2025年5月24日



s-640 HOLMES + MORIARTY = MATHEMATICS\_Xnv.jpg

\_\_\_ \* \_\_\_ \* \_\_\_

数学ガゼットの本拠サイトからサンプルpdfをダウンロードしてみました。

[Gazettesample.pdf](#) (1,082 KB)

18ページありますがもちろん英文です。パラパラめくってみると黒板の写真とパスカルの三角形が目に残りました。

\_\_\_ \* \_\_\_ \* \_\_\_

長い文章をとまると荷が重いのでgoogleによるpdfからの翻訳を試みてみました。

数式の一部が?になったり、「! テキストの文字数制限 (3900文字) を超えています」などがあるものの日本語訳を手にすることができました。

## s-800 GazetteのFibonacciと日本語訳.jpg

journals.cambridge.org/mag

英語

f

日本語

10

THE MATHEMATICAL GAZETTE

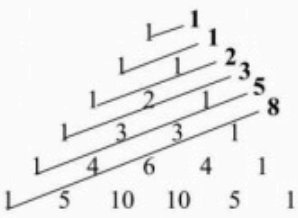
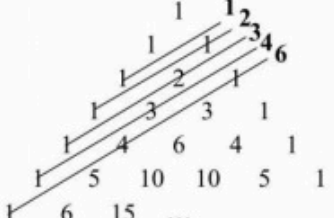



FIGURE 3a

FIGURE 3b

The third sequence ( $p = 2$ ) then represents the sum of the terms on a second diagonal of Pascal's triangle (Figure 3b), and the pattern continues for  $p \geq 3$ . We can be a little more precise in describing how these diagonals are constructed. First, we indicate that adjacent rows in the

The other mathematical area of interest on the board involves one of Moriarty's schemes for coding messages. Goriely and Moulton decided to connect this scheme with Pascal's triangle (also located on the board) which was appropriate since Moriarty had written A Treatise on the Binomial Theorem. Located under Pascal's

×

黒板上のもう一つの数学的な関心領域は、モリアーティのメッセージ符号化方式の一つに関するものです。ゴリーリーとモルトンは、この方式をパスカルの三角形（これも黒板上に示されています）と関連付けることにしました。これは、モリアーティが「二項定理に関する論文」を著していたため、適切な判断でした。黒板上のパスカルの三角形の下には、再帰的に定義されたフィボナッチ数列があります。  $F_p(n) = F_p(n-1) + F_p(n-p-1)$  ただし、の場合、す

— \* — \* —

- ・ 黒板とチョークに関しては

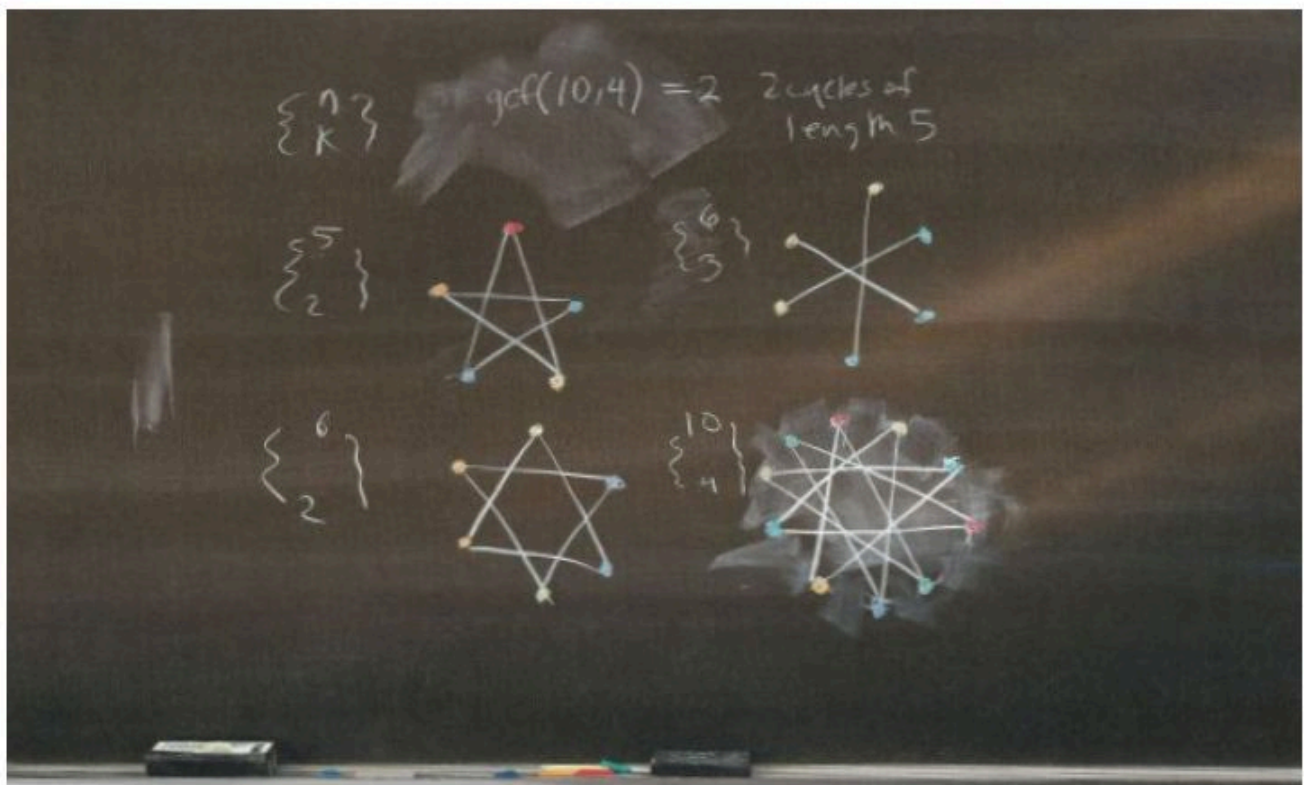
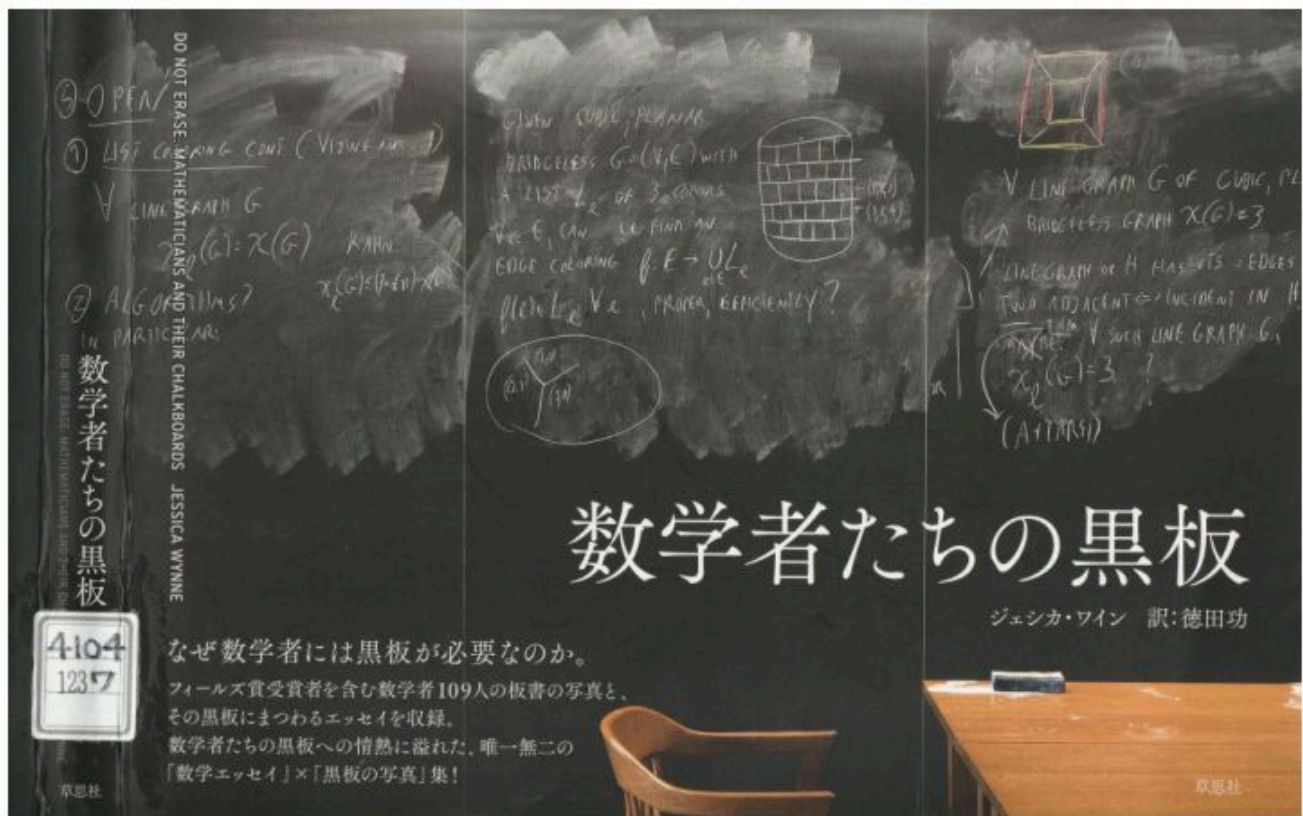
「599\_「羽衣チョーク廃業」余波 – yamaMath」

で書きました。

- ・ Gazettesample の黒板を見ていて以前に「数学者たちの黒板」という本を借りたことを思い出しました。どれも難解なものばかりだったように覚えています。表紙と分かりそうだったのかただ一つの黒板のみが記録保存されていました。

数学者たちの黒板\_表紙とp163.JPG





## 【数学の話題】

### 数学の話題